

プログラム名 (40字以内)	東大蔵元会の蔵で酒造りを体験しよう		
団体名/所属	東大蔵元会		
活動区分	就労体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	12人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	20歳以上(利き酒があります)。アルコール消毒やアルコール飲酒によるアレルギーがないこと。		
活動期間	2026/2月～3月 (就労体験)、2～5日間	主な活動予定場所	参加する東大蔵元会会員の酒蔵
プログラム実施の目的	2024年12月に「伝統的酒造り」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。 その酒造りを体験し、日本酒のこれからを考えることを目的とします。		
具体的な内容(800字程度)	本プログラムでは、学生が東大蔵元会会員の酒蔵に赴き、実際に酒造りに携わります。また、酒造りを体験するだけでなく、各蔵の抱える課題について、学生独自の視点から解決策を考えてもらいます。 就業体験の前に、現在の日本酒業界の全体像や、酒造りの基礎を知ってもらうため、日本の酒情報館(NS虎ノ門ビル)に行き、セミナーを受講する予定です。 なお、体験中に製造した酒は販売する商品となるため、実直に責任感を持って取り組める学生の参加をお願いします。 【スケジュール】 ①事前オリエンテーション@オンライン(2025年7月頃)(2～3時間) 蔵元会会長挨拶、参加者・蔵元全体顔合わせ、質疑応答 ②事前セミナー(2025年8月頃)(1時間半～2時間) 日本の酒情報館にて、日本酒に関するセミナーを受講 ③就労体験 蔵元ごとに異なる https://univtokyo-my.sharepoint.com/:b:/g/personal/4928854694_utac_u-tokyo_ac_jp/ESP_jURMZ2tPqg9h4R1tnaIBgcooMjvglmAqHg5otAWnAQ?e=U78lcg ※①②は、「東大蔵元会の蔵で酒造りを体験しよう」プログラム参加者全員が合同で行います。 ※③について、就労体験を希望する蔵元がある場合には、申請の参加動機欄に希望蔵元とその理由を記載のこと。ただし、応募者数にもよるので希望に添えるかどうかはわかりません。		
【総額】参加するための費用	参加する蔵によるため、「就業体験概要」参照		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	6,000円～10,000円×宿泊日数分		
【内訳】参加するための費用(交通費)	岩手、福島、新潟、奈良、栃木の蔵元への交通費		
【内訳】参加するための費用(その他)	(予定) 事前セミナー参加費:4,000円 懇親会参加費(希望者のみ):3,000円		
奨励金額(予定)	活動終了後に算定		
備考	この活動は、各蔵元の受け入れ可能な日程を基に就労体験の日程を調整するプログラムです。 そのため、日程調整には制限があることをご理解のうえ、ご応募ください。 なお、日程の調整はおおむね12月から1月にかけて行います。		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト			
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)			
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		